ふりがな　　たけくま　しんいち

氏　名　　**武隈　慎一**

1. 学歴

1973 年　3 月　一橋大学経済学部卒業
1973 年　4 月　一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学
1975 年　3 月　同課程修了
1975 年　4 月　一橋大学大学院経済学研究科博士課程進学
1975 年　9 月　米国，ロチェスター大学大学院経済学部 Ph. D.　課程留学
1978 年　5 月　米国，ロチェスター大学経済学修士学位取得
1979 年　5 月　米国，ロチェスター大学経済学博士学位（Ph. D.）取得

2. 職歴・研究歴

1978 年 10 月 － 1979 年 6 月　米国，カリフォルニア工科大学人文・社会科学部門特別研究生
1980 年　4 月 － 1983 年 3 月　一橋大学経済学部専任講師
1983 年　4 月 － 1990 年 3 月　一橋大学経済学部助教授
1985 年　8 月 －　　9 月　米国，カリフォルニア大学バークレイ校経済学部客員助教授
1990 年　4 月 － 1998 年 3 月　一橋大学経済学部教授
1990 年　8 月 －　　9 月　米国，ハーバード大学経済学部客員教授
1998 年　4 月 －　　一橋大学大学院経済学研究科・経済学部教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

基礎ミクロ数学，基礎経済数学，ミクロ経済学

（b）大学院

中級ミクロ経済学，理論経済学Ⅰ，ワークショップ

B. ゼミナール

学部後期，大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

「基礎ミクロ経済学」の講義では，学部 1，2 年生を対象にミクロ経済学の基本理論を説明する。「基礎経済数学」では，学部 1，2 年生にミクロおよびマクロ経済学の基本理論を理解するのに必要な数学的手法を習得させる。「ミクロ経済学」では，学部 3，4 年生を対象にミクロ経済学の中級レベルの理論と応用について講義する。

「中級ミクロ経済学」の講義では，大学院修士課程の学生を対象にミクロ経済学の様々なトピックを講義する。「理論経済学Ⅰ」では，理論経済学における最近のトピックについて講義する。

学部 3，4 年のゼミナールでは経済理論に関する基本的文献を輪読形式で報告させ，専門的な論文を読解

する能力を身に付けさせる。大学院のゼミナールでは，学生が適当な研究テーマを見つけることができるように研究指導を行う。博士課程のゼミナールでは，学生は各自の研究成果の報告を行い，最終的には博士論文として完成させる。

4. 主な研究テーマ

(1)動学的経済における資産市場の一般均衡

不確実性を含む経済における株式や債券等の資産市場の均衡に関する研究であり，資産価格付け動学モデルにおいて，企業の資本構成に関する「モジリアーニ・ミラーの定理」が動学的一般均衡モデルにおいて成立することを示した。

(2)コアと競争均衡との同値性

コアと競争均衡との同値性に関するオーマンの定理を拡張することを目的する研究であり，経済主体の選好の単調性を仮定することなく，より一般的な経済においてオーマンの証明の手法を用いてコアと競争均衡との同値性を証明した。

(3)拒否的コアと配当均衡との同値性

選好の飽和性を許容する経済におけるコアと競争均衡との同値性に関する研究であり，リヤプーノフの定理を適用することによって，選好の分布が一般的な経済おいて拒否的コアと配当均衡とが同値であることを証明した。

(4)選好の非飽和性と競争均衡の存在

選好の飽和性を許容する経済における競争均衡の存在に関する研究であり，配当均衡の存在に関する一般的な定理を確立することによって，選好が飽和する可能性がある経済においても競争均衡が存在することを証明した。

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書・編著

『体系経済学辞典』第 6 版，東洋経済新報社，1984 年，項目執筆。

『現代経済学の新展開』（時子山和彦，美濃口武雄との共編著）有斐閣，1985 年，371 頁。

『経済辞典』新版，有斐閣，1986 年，項目執筆・編集協力。

『ミクロ経済学』新世社，1989 年，325 頁。

『演習ミクロ経済学』新世社，1994 年，292 頁。

『マクロ経済学の基礎理論』新世社，1998 年，247 頁。

『ミクロ経済学増補版』新世社，1999 年，388 頁。

『数理経済学』新世社，2000 年，250 頁。

『基礎コース経済数学』（石村直之との共著）新世社，2003 年，277 頁。

『入門ミクロ経済学』（金子浩一，丹野忠晋，小川浩，原千秋，山重慎二との共編著）ダイヤモンド社，2005 年，271 頁。

『現代数理科学辞典』第 2 版，丸善株式会社，2009 年，項目執筆。

（b）論文（査読つき論文には*）

"Mathematical Theory of Optimal Economic Growth," Ph. D. dissertation, The University of Rochester, 1979.

* "A sensitivity analysis on optimal economic growth," *Journal of Mathematical Economics* 77, 1980, pp. 193-208.

* "A support price theorem for the continuous time model of capital accumulation," *Econometrica* 50, 1982, pp. 427-442.

「一般均衡と不完全競争における企業行動の理論」『一橋論叢』第 88 巻第 4 号，1982 年，523-538 頁。

"Price formation and cooperative behavior of firms: A limit theorem on competition among firms," *Hitotsubashi Journal of Economics* 22, 1982, pp. 44-61.

"On Existence of Optimal Programs of Capital Trading Structures : The Case of the Japanese General Trading Companies," *Hitotsubashi Journal of Economics* 24, 1983, pp. 109-118.

"A new concept of equilibrium for a private ownership economy with profit-making firms," *Hitotsubashi Journal of Economics* 25, 1984, pp. 93-104.

"On duality theory for the continuous time model of capital accumulation," *Hitotsubashi Journal of Economics* 25, 1984, pp. 145-154.

「合理的期待と資本蓄積」『現代経済学の新展開』有斐閣，1985 年，39-53 頁。

「不確実性と市場均衡」『研究年報経済学研究』一橋大学，1987 年，133-208 頁。

"Support prices for optimal programs of capital accumulation in a general reduced model under uncertainty," *Hitotsubashi Journal of Economics* 29, 1987, pp. 183-189.

"On the existence of optimal stationary states in capital accumulation under uncertainty: A case of linear direct utility," *Hitotsubashi Journal of Economics* 29, 1988, pp. 223-234.

"On the existence of an equilibrium for an aggregate model of stationary Markov economy," *Hitotsubashi Journal of Economics* 31, 1990, pp. 105-117.

"Optimal growth under uncertainty: A complete characterization of weakly maximal programs," *Hitotsubashi Journal of Economics* 33, 1992, pp. 169-182.

"Turnpike theory for capital accumulation in a general stationary model under uncertainty," *Hitotsubashi Journal of Economics* 37, 1996, pp. 46-58.

"A proof of Arrow's impossibility theorem by Mathematica," *Hitotsubashi Journal of Economics* 38, 1997, pp. 139-148.

"Pareto optimum allocations in the economy with clubs," *Hitotsubashi Journal of Economics* 40, 1999, pp. 29-40.

"On the competitive equilibrium in the economy with clubs," *Hitotsubashi Journal of Economics* 41, 2000, pp. 17-26.

"The competitive equilibrium and Pareto optimum allocations in the economy with clubs,"「経済の数理解析」，『数理解析研究所講究録』1215，2001 年。

"Rational Expectations and the Modigliani-Miller Theorem,"『数理解析研究所講究録』1443，2005 年，44-53 頁。

"On the optimal stationary state for the quasi-stationary model of capital accumulation under uncertainty: The characterization of the discounted golden-rule state by prices," *Hitotsubashi Journal of Economics* 49, 2008, pp. 23-33.

* "A note on Aumann’s core on equivalence theorem without monotonicity (with J. Honda)," *Advances in Mathematical Economics* 13, 2010, pp. 35-46.

"The Modigliani-Miller Theorem in a dynamic economy," *Hitotsubashi Journal of Economics* 51, 2010, pp. 43-55.

* "On the equivalence between the rejective core and the dividend equilibrium: a note (with K. Miyazaki)," *Advances in Mathematical Economics* 16, 2012, pp. 111-117.

"On the existence of Walras equilibrium in irreducible economies with satiable and non-ordered preferences (with K. Miyazaki)," Discussion Paper, Graduate School of Economics 2012-5, Hitotsubashi University, 2012.

（d）その他

数学から見る経済学，社会のモデル化と数学的手法（楠岡成雄氏との対談），『経済セミナー』，日本評論社，2011。

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告・招待講演には*）

"On the existence of Walras equilibrium in irreducible economies with satiable and non-ordered preferences," セミナー「経済の数理解析」，慶應義塾大学，2012 年 12 月。

（b）国内研究プロジェクト

研究集会，「経済の数理解析」，数理経済学研究センター，慶応義塾大学・京都大学，1999 年 － 。

C. 受賞

Peter L. Conibear Prize (for master's thesis), The University of Rochester, 1978.

6. 学内行政

（a）役員・部局長・評議員等

評議員（2007 年 4 月 － 2009 年 3 月）

アカデミック・ハラスメント対策委員会委員（2012 年 4 月 －）

（c）課外活動顧問

サッカー部部長（1989 － 2008 年）

7. 学外活動

（b）所属学会および学術活動

The Econometric Society

日本経済学会

数理経済学研究センター，理事（2001 － 2008 年）

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

国家公務員採用Ⅰ種試験（経済）試験専門委員，人事院（1999 － 2009 年）

公益信託「山田学術研究奨励基金」運営委員（2003 年 － 現在）

日本人事試験研究センター，問題作成・校閲（1998 年 － 現在）